

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 415番
- *交読文 …………… 39番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 107番
- 礼拝のための祈り ……… 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 …………… 516番
- メッセージ …………… 頑なな心と柔和な心(ヘブル 3:7-19)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 382番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

肉の心主はこう言われる、わたしは_____をもろもろの民の中から集め、その散らされた国々から集めて、約束の地を_____に与えらる。

_____はその所に来る時、そのもろもろのいとうべきものと、もろもろの憎むべきものとをその所から取り除く。

そしてわたしは_____に一つの心を与え、_____のうちに新しい霊を授け、_____の肉から石の心を取り去って、肉の心を与える。

これは_____がわたしの定めに進み、わたしのおきてを守って行い、そして_____がわたしの民となり、わたしが_____の神となるためである。

しかしいとうべきもの、憎むべきものをその心に慕って歩む者には、彼らの行いに従ってそのこうべに報いると、主なる神は言われる。(エゼキエル 11:17)

聖霊は私達に、以下の命令を、三度も繰り返して警告している。
 「きょう、あなたがたがみ声を聞いたなら、荒野における試練の日に、／神にそむいた時のように、／あなたがたの心を、かたくなにはいけない。」(ヘブル 3:7-8、同 15 節、同 4:7)
かたくなさ。それは、**主の道を見えなくさせ、迷わせる性質**であり(ヘブル 3:10)、**決して主の安息に入る事の出来ない性質**(同 11、18 節)、**御怒りを引き起こし、しかばねを荒野に晒す性質**である。(同 17 節)
 「兄弟たちよ。気をつけなさい。あなたがたの中には、あるいは、**不信仰な悪い心**をいだいて、生ける神から離れ去る者があるかも知れない。」(同 12 節) この「**不信仰(アピステイア)**」は、**2 節や 5 節の、キリストの「忠実(ピストス)」の反対言葉**で、**不忠実**を意味する。「**弱い信仰**」ではなく「**反・信仰**」なのだ。

頑なな人は、災いである。いかに多くの奇跡を体験しても、いかにモーセのような素晴らしい導き者の指導を受けても、**荒野で滅んでしまい、安息の地に決して入れないものだ**。
 そこには身分の高い低いは関係無く、多数決の原理も無い。エフライム部族の族長は約束の地に入れなかったのに、同じ部族でモーセのかばん持ちの若者・ヨシュアは、入れた。モーセが 40 日山から降りて来なかった時、アロンや民は不忠実に身勝手な神を造って墮落したが、**ヨシュアは忠実に待っていた**。また彼は、モーセが会見の天幕から帰った後も、ずっと幕屋を離れずにいた程、**忠実だった**からだ。
 60 万以上の民が「エジプトへ帰ろう」と言い、二人が「約束の地へ行こう」と言うなら、普通、その集いはエジプトへ行く、というのが、多数決の原理であるが、神の真実は、それを許さない。
 神の御心が、神の御約束が「約束の地へ導く」というのであれば、それを信じて従うべきであり、それに逆らったのがいかにアブラハムの子孫 60 万以上であっても、全員が荒野で屍を晒す事になったのである。それ程、神の約束は峻厳であり、御声に逆らい、御言葉に逆らう事には、**厳然たる「災い」しか無い**のだ。

「きょう、あなたがたがみ声を聞いたなら、あなたがたの心を、かたくなにはいけない。」皆さんには今、主から何か御言葉は与えられているだろうか。何か約束が与えられているだろうか。
 主に喜ばれるあの事を、今しなさい、と言われていたのだろうか。捧げ物を滞らせてはならない、と言われていたのだろうか。あの兄弟、あの姉妹を、憎む事を止めなさい、和解しなさい、と言われていたのだろうか。赦しなさい、と言われていたのだろうか。怒りや憤り、陰口、ねたみを捨てなさい、と言われていたのだろうか。体を害するようなあの習慣から離れなさい、と言われていたのだろうか。
 もし言われているなら、それから顔を背けず服従すべきである。いつから？それは、きょうである。(13 節) **聖書の御言葉を読んだ時、あるいは礼拝のメッセージや兄弟姉妹との交わりの内で、心に特に印象付けられたり、ひっかかりを覚える示しがあったなら、その「主の御声」から顔を背けず、服従すべきである。**

私達は、聞いた御声に従い、与えられた御言葉を信じて服従するなら、安息に入る。しかし、荒野の民のように、御言葉を聞いてもそれを信じず、頑なになって御声を退けるなら、安息に入れず、滅んでしまう。「彼等は聞きし言葉に**信仰を交ぜ**ざりしかば、その聞ける言葉も彼等を益せざりき。」(永井訳 ヘブル 4:2)
 頑なな心、すなわち、世の価値観によって踏み固められていたり、表層は柔らかくても内には固い岩があったり、あるいは、いばらの茂るような心であったなら、御言葉を混ぜても、実を結ばない。しかし、御言葉が混ざりやすい**柔和な心**は、幸いである。その人は地を相続し、安息に入るからである。**信仰によって御言葉を自分自身と交ぜるなら、御言葉なるキリストと一体化する事となり、キリストの御業が自分の内に働き、キリストのいのちが自分のものとなり、キリストのご性質が、自身の内と外とに現わされる。**
 「わたしたち信じている者は、**安息にはいることができる。**」(ヘブル 4:3)
 安息の休みは、信仰をもって御言葉を交ぜる聖徒のために残されており、そして神の安息にあずかった人は、神が御業を終えて休まれたように、自分のやりくりや頑張りを終えて、**休みに入る**。(同 10 節)
 信仰によって御言葉なるキリストを自分自身に混ぜ、キリストとひとつとなり、神の安息の内に居続ける皆さんでありますように！イエス様の名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝

1部礼拝(韓国語中国語通訳有) 10:30
 食事/フェローシップ 12:00～
 2部礼拝 14:00
 聖書の学び会(箴言) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
 火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
 火・木 夜の祈祷会 21:00～

水曜集会

1部 13:00～
 2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
 6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
 JR・関内駅より徒歩10分
 京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
 伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
 1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
 毎日携帯にお届けします。
 左記コードを読み込み、
 空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト